

令和2年度 自治会活動のご紹介

コロナ禍ではありますが、感染症の対策に気を配りながら、
活動をしている地域のうち、いくつかをご紹介します。

新田宿連合自治会

しめ縄づくり



日 時：令和2年12月20日（日）午前の2時間位

場 所：諏訪明神社（西中学校そば）

コロナ対策：マスクをして、密にならないようお互い距離を保ちながら作業

作業人数：自治会役員と神社関係者、合わせて20名位

作業内容：大小合わせて8つほど作成

集会所、鳥居、ご神木の楠、社殿につけるもの等

苦労した点：大きいものは藁を組んで長くした上で作っていくため、複数人での作業になるが、密にならないようにしながら行うのが大変だった

立野台地区

とんと焼き



昨年度はコロナ禍の中ほとんどの行事が中止になりましたが、こんな時だからこそ「疫病退散・除災招福」との思いを強く、立野台地区では以下のような対策をとり令和3年1月17日（日）にとんと焼きを開催しました。

- 先ずポスターにてマスク着用を徹底し、会場各所に消毒液を設置しました。
- 例年作っていた甘酒は中止し、みなさんにお振舞うものはアルミホイルに包まれた焼き芋とみかんと袋詰めのお菓子に限定しました。「家に帰ってから食べて下さい」とのアナウンスと一緒に！

会員さんは三々五々お飾りや書初め等を持参し、燃え盛るお焚き上げの炎を見つめ、「早く平穏な日常が戻りますように！」と静かに祈願するひとときになりました。



相武台地区

市民レクリエーション大会



市民レクリエーション大会を行うにあたり、準備の段階も含めて次のような対策をしました。

- ・コロナウイルスの感染予防は一人ひとりの自覚であり、うつさない、もらわないため、微熱など体調に違和感のある時は参加をしない
- ・会場ではマスクを必ず着用し参加受付で体温測定、手指を消毒して参加者名簿に住所、氏名、連絡先を記入後に参加シールを添付する
- ・実行委員の人数は必要最小限としてフェイスシールド、ゴム手袋、マスクを着用し密を避ける

